

市全体 いよいよ本格始動 行政改革推進委員会

松島市長がローカルマニフェストに掲げる『行政改革』を実現するため、10月5日(木)行政改革推進委員会が開催され本格的な作業がスタートしました。

これは、社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するために設置されたもので、10名の委員で構成されます。

作業内容としては、市長の諮問に応じて、南島原市の行政改革に関する重要事項を調査審議し、その結果を市長に答申します。この日は、委員10人に辞令を交付した後、委員の互選により会長を決定。会長に選出された松本直澄さんは「南島原市のために、皆さまのご協力をいただきながらがんばっていきます」と挨拶されました。その後会長にたいし、下記のとおり諮問を行いました。



▲松本会長に手渡される諮問書



▲10名の会議メンバーで始動

南島原市行政改革推進委員会

氏 名	年 齢	住 所
まつもと なおすみ 松 本 直 澄	61	深江町丙
よしおか ひろみち 吉 岡 宏 道	48	布津町丙
やました やすあき 山 下 康 昭	64	有家町大苑
おおこば よしただか 大古場 義 隆	70	西有家町須川
さかた やすのり 酒 田 泰 徳	42	北有馬町丙
うちやま てつとし 内 山 哲 利	59	南有馬町乙
たぐち ちかとし 田 口 親 利	80	口之津町乙
さがら しろう 相 良 司 郎	67	加津佐町己
もり森 たすみこ 森 田 純 子	61	西有家町龍石
まつしま なみ 松 島 奈 美	37	布津町甲

諮 問 事 項

1. 南島原市の行政改革の基本方針に関すること

- ① 行政の担うべき役割の重点化
- ② 機構・組織の再編、整備
- ③ 定員管理および給与の適正化など
- ④ 人材育成の推進
- ⑤ 公正の確保と透明性の向上
- ⑥ 電子自治体の推進
- ⑦ 財政健全化

2. その他、行政改革の推進に関すること

今後のスケジュールとしては、委員会において、諮問された事項を11月末までに集中的に協議し、市長へ答申します。その答申を受け市議会に報告し説明をしたうえで、来年1月中に行革大綱原案を決定。2月にホームページなどを活用して市民皆さんの意見をお伺いし、3月には最終的に策定した①行革大綱、②集中改革プランを公表し、行財政改革を実施していく予定です。



▲合併契約書調印のようす

市全体 県内最大規模の組織へ

南島原市八町商工会合併契約締結式

平成16年1月30日、第1回雲仙地域商工会合併協議会が開催されてから約2年半にかけての協議を経て、9月22日(金)、8町商工会による合併契約締結式が行われました。

今回の合併は、これまでの行政合併の推移を見守りながら、南島原市発足に沿うような形で行われました。締結式は8町の商工会長が合併契約書に調印し、立会人の松島市長、酒井島原振興局長、池原長崎県商工会連合会長が署名し成立しました。雲仙地域商工会合併協議会会長の川口誠一南有馬町商工会長は式の中で「関係者皆様のご協力で今日を迎えることができました。10年、20年先の商工業発展のために、今後も一丸となって取り組まなければなりません」と合併に向けての決意を述べました。新しく発足する「南島原市商工会」は、約2,000名を数える県内最大規模の会員数になり、来年4月1日、口之津商工会館を本所としてスタートする予定です。



▲手をとりあい、新たなスタート！

北有馬 受け継がれる郷土芸能

ふりゅう お祭りで浮立披露

10月7日(土)、北有馬町の神社で春日神社大祭が開催され、地元の子供たちが日ごろの練習の成果を力強く披露しました。同町では昔から伝わる郷土の文化、芸能について、昭和55年に「郷土芸能保存会」を結成し、浮立などの保存に尽力されています。

今回は地元のお祭りにあわせ、日ごろの練習の成果を発表。独特の笛の音調と踊りを交えた子どもたちの太鼓演技が鎮守を彩りました。



▲子どもたちが浮立を披露

※ 浮立の起源

佐賀県に伝わる面浮立を伝え改良されたもので、秋の刈り入れ前に五穀豊穡を祈願したもの。北有馬町に伝わる浮立は、寛永18年(1641年)島原の乱後、同町折木に移住した佐賀県川副の宮田利兵衛らが伝えたと言われています。